

(第1号議案)

一般社団法人 菓子・食品新素材技術センター
令和元年度 事業報告
(平成31年4月1～令和2年3月31日まで)

[概要]

当法人の事業目的達成のため、本年度事業計画に基づき、食品衛生登録検査機関としての試験検査業務並びに食品表示法、食品衛生法改正に伴う各種事項の普及・指導業務、及び食品新素材事業部による機能性食品素材の普及・指導業務を農林水産省・関係業界等の後援、協賛を得て有効に展開した。

実施した事業内容、以下の通りである。

[事業内容]

1. 総会

1) 通常総会 令和元年 6月14日(金)開催

平成30年度事業・会計報告及び同監査報告、令和元年度事業計画、収支予算の決定、及び任期満了に伴う役員改選を行った。

2) 総会終了後、下記の課題で記念講演を行った。

「お客様を笑顔に！地方を元気に！・・・「二木の菓子」独自経営戦略・・・」

株式会社 二木 代表取締役社長

全国菓子卸商業組合連合会 理事長 二木正人氏

2. 役員会

- 1) 理事会
- | | | |
|-----|------|-----------|
| 第1回 | 令和元年 | 6月14日(金) |
| 第2回 | 令和元年 | 10月11日(金) |
| 第3回 | 令和2年 | 3月19日(木) |

理事会においては、運営上の必要事項について報告、審議、決定した。

なお第3回の理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を見合わせ、代表理事及び内部理事でまとめた提案事項を書面にて各理事に諮ったところ、理事全員より同意を得て議決した。このことについて、監事2名の確認を得た。

2) 監事会

令和元年5月29日(水)に開催、平成30年度事業・会計関係の監査を行った。

3. 事業部会

1) 役職員月例会兼試験検査事業部会

総務部主催で毎月第一水曜日に常勤役員、職員全員出席のもと、前月の各事業部の業務状況報告、当月の予定等を確認し、諸課題について職員全員での意見交換を行い、その後必要に応じて内部研修を行った。

2) 食品新素材事業部幹事会

食品新素材に関する知識の適正な普及と業界の健全な発展を図る目的で、技術部会、普及部会、編集部会が密接な連携のもと、幹事会を必要に応じて開催し、各部会と呼応して事業の推進にあたった。

4. 事業報告

本年度事業計画に基づき、総務部、試験検査事業部、食品新素材事業部が協力し

下記の事業を実施した。

1) 菓子及び食品の衛生・品質検査事業

理化学検査件数 : 9, 074 件
細菌学的検査件数 : 1, 463 件
合計 : 10, 537 件

成績書証明書発行部数 : 2, 426 部

2) 自主事業 : SQマーク関係普及事業 12社 33品目

3) 受託事業

- (1) 一般社団法人 全国はちみつ公正取引協議会より
流通はちみつの品質検査事業 定期検査53品目(上半期実績)
- (2) 全国油菓工業協同組合定期検査事業
検査実績は、1)菓子及び食品の衛生・品質検査事業に含まれる。
- (3) 日本豆類基金 → 豆類加工研究会より令和元年度豆類加工利用技術向上対策実体調査事業
・・・雑豆類が持つ機能性成分の加熱による挙動・・・

4) 食品新素材事業の普及啓発事業

- (1) 幹事会 : 令和元年6月 ifia2019展示等について
令和元年8月 ifia2019, 第8回栄養食品素材展報告会, 及び食品開発展, 第65回研究会等について

(2) 普及部会 :

- ifia2019(令和元年5月22日~24日 青海展示棟ホール)に協賛、会員10社の協力を得て各種食品新素材の展示を行った。
- 第8回栄養食品素材展(令和元年7月22日~24日 青海展示棟ホール)に協賛、会員8社の協力を得て各種食品新素材の展示を行った。
- 食品開発展2019への参加
令和元年10月2日~4日 東京ビッグサイトで開催され、会員会社の素材紹介とセンターの事業の紹介を行った。
- 農林水産省「消費者の部屋」における展示と普及
「日々の食生活と食品新素材」のテーマで、令和2年2月17日~21日の5日間、展示室を提供され、新素材会員中の9企業の機能性素材の展示紹介を行うとともに、素材を利用した食品の試食などを行った。
来場者数 745名
- 機能性食品素材有効利用技術シリーズ等、「オリゴ糖Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」をはじめ当センター発行並びに関係者編著出版物を展示等の機会あるごとに紹介頒布した。
- 新素材紹介関連の内容で、「お菓子フォーラム」研究会講師の選定に協力した。

(3) 技術部会

- 農林水産省食料産業局後援による第65回食品新素材研究会を開催

令和2年2月7日(金) 東京大学 弥生講堂アネックス
参加者 36名

[第一部] 以下の素材の機能性についての紹介

- ① 株式会社 サナス : アンヒドロフルクトース含有水飴による向上について
- ② 焼津水産化学工業株式会社
: 海藻由来フコースの紹介
- ③ 甲陽ケミカル株式会社
: 三陸のイサダから抽出したオキアミオイルの利用
- ④ 株式会社 林原 : 高齢社会で生きるトレハロースの機能性

[基調講演]

- ① 農林水産省食料産業局 食品製造課 課長補佐 上河内 光秀氏
「食品産業行政の最近の話題」
- ② 公益財団法人 食の安全・安心財団理事長 唐木秀明氏
「食品の安全とリスクコミュニケーション」
- ③ 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究センター長 國澤 純 氏
「腸内環境から考える個別化栄養指導の近未来像」

5. 協力事業

1) 一般財団法人 東京菓子協会との共同事業としての広報活動

○ 「お菓子フォーラム」の企画・編集

「お菓子フォーラム」の発行 (年4回発行)

No.1 4 3号 平成31年4月15日発行

No.1 4 4号 令和元年7月15日発行

No.1 4 5号 令和元年10月15日発行

No.1 4 6号 令和2年 1月15日発行

○ 第92回お菓子フォーラム研究会の実施

令和元年11月15日(金)東京菓子会館5階ホールで下記のテーマで開催、参加者35名であった。

(1) 「災害発生直後を体験しよう!!」

講師 A I G損害保険株式会社

リスクマネジメントサービスユニット チーフリスクスーパーバイザー 森 喜一 氏

(2) 「カシスポリフェノールの機能性と利用」

講師 株式会社 明治フードマテリア

機能性素材事業部 研究開発グループ

医学博士 倉重恵子 氏

2) 豆類加工研究会事業への協力

(1) 4月に福岡市にて「第61回研究会」開催

(2) 豆類加工技術向上対策事業を日本豆類協会の助成により実施

- (3) 令和元年10月18日に東京メルクロスビル9階にて「第62回豆類加工研究会」開催
- (4) 豆類加工技術向上対策事業を日本豆類協会の助成により実施
- (5) 会員への各種情報資料の配布

6. 教育指導事業及び製菓衛生師受験関係の教育指導

職業訓練法人「東京菓子学園」講師として出向

食品化学・物性測定法・食品表示法：岡部裕子
食品化学：熊谷晶子

7. 東京菓子会館建て替えによる当センターの対応及び今後の進路について

令和元年5月に東京菓子協会より、東京菓子会館の建て替えの件の通知があった。令和2年度より現在の会館内の同敷地内に新しい会館を建設することであった。現在の会館は、55年を経過し、旧耐震構造であり、大きな地震が発生した場合、大規模な損壊が予想されるとのことが理由である。

この通知について、令和元年6月理事会にて、センター各理事、監事各位に周知した。このことに対するセンターの対応についてが、年内の検討事項になった。

東京菓子協会との打合せ会、10月理事会、その後の検討委員会等において東京菓子協会の方針を確認し、当センターの今後の在り方を検討した結果、令和元年年末には、下記の(1)から(4)のことが明らかになったので、(5)、(6)の内部決議にいたり、令和2年3月19日の理事会において承認された。

- (1) 令和3年3月末には現在の建物から撤去すべきこと。但し数ヶ月の遅延はあるとのこと。
- (2) 新しい会館には、試験検査施設として十分な面積が提供されないこと、ガス、給排水、排気等についても十分な能力を有する設備を設けることはできないことから、理化学的検査登録検査機関であるセンターは、新しい会館に検査施設を移設することはできない。
- (3) 現在のセンターには、外部に新たに検査施設を立ち上げる資力がないため、試験検査業務の殆どを廃業する。現在の検査業務は令和3年3月末までとする。
- (4) 令和3年以降については、これまでの検査業務の残務と検査業務以外の業務を行うために、事務所を設けてセンターの業務を継続する。
- (5) これまで当センターの検査事業をご利用頂いた企業には、本年度中に連絡、この状況を説明し、ご理解頂き、今後について相談させて頂く。幾つかの検査項目については他の検査機関に業務委託することを昨年より検討し、交渉を進めている。
- (6) センターの社団法人としての組織及び新素材事業部等の検査業務以外の事業については、原則存続の方針であるが、会員各位の意見をまとめ、意向に沿って決定する。
- (7) これまで、東京菓子会館との交渉にあたっては、法律問題の処理業務を弁護士 若林 眞氏に委託して進めてきた。センターの業務整理、組織運営にかかる諸問題についても、要事、相談委託して、疎漏のないように進めていくこととする。

8. 庶務事項

1) 会員の状況

令和元年度末会員構成

個人会員 7名
 企業会員 99社
 団体会員 13団体

2) 役員構成 (令和元年度末)

役 職	氏 名	常勤・非常勤
代表理事(理事長)	中久喜 輝 夫	非常勤
副理事長	鶴 見 和 良	非常勤
〃	山 口 哲 正	非常勤
業務執行理事 (専務理事)	岡 部 裕 子	常 勤
理 事	稲 葉 利 佳 子	非常勤
〃	熊 谷 晶 子	常 勤
〃	小 林 昭 一	非常勤
〃	島 田 純 久	〃
〃	西 村 幸 男	〃
〃	早 川 幸 雅	常 勤
〃	布 施 雅 昭	常 勤
〃	藤 田 邦 夫	非常勤
〃	持 田 謙 二	〃
〃	山 田 澄 晴	〃
〃	吉 田 竹 志	〃
監 事	岡 本 光 治	非常勤
〃	山 本 正 次	〃

理事 15名 監事 2名

3) 職 員 (令和元年度末)

研 究 所 長	岡 部 裕 子	
主 任 研 究 員	熊 谷 晶 子	
研 究 員	伊 藤 菜 希 子	
〃	清 水 桜 子	
〃	稲 葉 利 佳 子	(非常勤)
〃	加 藤 利 江	(非常勤)
〃	中 島 悠	
特 別 研 究 員	早 川 幸 男	
〃	布 施 雅 昭	

合 計 11名